

医師部門

受賞者： よこやま ひろし 横山 宏 (91歳)

特定非営利活動法人山梨ホスピス協会 理事長



千葉医科大学医学専門部卒業後、山梨県内で地域医療に長年従事する。山梨県立中央病院院長を務めた1988年当時、ホスピスや緩和ケアの理念について正確な知識を持つ人は少なく、その重要性を説き、山梨ホスピス協会の創立に尽力した。山梨県内にホスピスを創るために協会員を募り、勉強会を開催。ホスピス設置のための署名活動の結果、2万人を超える署名を集め、1992年に念願の山梨ホスピス協会を創立し、翌年理事長に就任した。

同協会における横山氏の力強い後押しにより、2005年に山梨県立中央病院に緩和ケア病棟が開棟し、患者さんの心と病気に寄り添う医療を推進し、慢性期医療の発展・充実に大きく貢献した。

山梨ホスピス協会では緩和ケアに関する啓蒙活動を積極的に推進すべく、講演会、映画上映会、研修講座、緩和ケアに関する出版などを行っており、今なお横山氏は会の中心として活動を牽引している。緩和ケアの創成期から今日に至るまで、緩和ケアの礎を築いた功績は計り知れず、現役医師として地域住民への医療提供ならびに心に寄り添う診療を続けている。

推薦者： 阿部 文明 山梨県立中央病院 緩和ケアセンター統括部長
神宮寺 禎巳 山梨県立中央病院 院長
今井 立史 山梨県医師会 会長
小松 史俊 甲府市医師会 会長